



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西澤 庄藏

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 古木 光次

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	45,036	92.7	5,295	—	4,776	—	2,660	—
23年3月期第3四半期	23,373	△5.0	△1,790	—	△2,546	—	△2,597	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	72.31	—
23年3月期第3四半期	△70.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	127,102	42,783	33.7
23年3月期	125,488	41,049	32.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 42,783百万円 23年3月期 41,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,200	87.2	7,800	—	7,000	—	3,900	—	105.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、【添付資料】P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	36,800,000 株	23年3月期	36,800,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,194 株	23年3月期	1,194 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	36,798,806 株	23年3月期3Q	36,798,853 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの停滞を脱し経済活動は緩やかな持ち直しの動きがあるものの、長期化する円高、加えて欧州の財政・金融不安を背景とした世界的な景気の減速懸念など先行き不透明な状況にあります。

当社事業につきましては、チタン事業では、輸出向けにおいて既存航空機の生産好調継続に加え新型航空機の納入開始を受けて需要は引き続き増加基調で推移いたしました。また国内向けでも、足元では先行き不透明感が出始めているものの、産業プラント用の需要回復や海水淡水化プラント用の需要増により販売量は大幅に増加しております。このような需要状況を受け、年産40千t体制への能力増強工事を平成23年11月末に前倒しで完成させました。この結果、チタン事業の売上高は26,725百万円(前年同期比43.4%増)となりました。

ポリシリコン事業では、半導体需要は足元調整局面にあるものの、4月より本格稼働した岸和田工場の生産が寄与し、高圧ガス保安法対応で減少した前年同期に比べ、生産・販売量が大幅に増加いたしました。この結果、ポリシリコン事業の売上高は16,229百万円(前年同期比539.2%増)となりました。

高機能材料事業では、液晶分野での需要減によりTILOPの販売量が減少、売上高は2,081百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は45,036百万円(前年同期比92.7%増)、利益につきましては、営業利益5,295百万円、経常利益4,776百万円、四半期純利益2,660百万円となりました。

(参考)

(単位：百万円)

		当第3四半期	前年同期	増減率(%)
チタン事業	国内	15,077	10,329	46.0
	輸出	11,647	8,308	40.2
	計	26,725	18,638	43.4
ポリシリコン事業		16,229	2,539	539.2
高機能材料事業		2,081	2,196	△5.2
合計		45,036	23,373	92.7

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第3四半期末の総資産の残高は、127,102百万円と前事業年度末と比べ1,613百万円増加いたしました。これは、減価償却による有形固定資産の減少及び税引前四半期純利益の計上による、繰越欠損金に係る繰延税金資産の取崩があったものの、売掛金及び棚卸資産が増加したことが主な要因であります。

② 負債

当第3四半期末の負債の残高は、84,318百万円と前事業年度末と比べ120百万円減少いたしました。これは、買掛金及び借入金が増加したものの、設備関係支払手形及び設備関係未払金が減少したことが主な要因であります。

③ 純資産

当第3四半期末の純資産の残高は、42,783百万円と前事業年度末と比べ1,733百万円増加いたしました。これは、配当金の支払による減少があったものの、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年10月27日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高

前事業年度末に算定した貸倒実績率と著しい変動がないと認められるため、当第3四半期末において、前事業年度の財務諸表作成で使用した貸倒実績率を用いて算定しております。

②棚卸資産の評価方法

第2四半期末の実地棚卸高を基礎として継続記録法により棚卸高の算定をしている棚卸資産については、当第3四半期末の実地棚卸を省略しております。

③税金費用

年間の税引前利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,604	3,870
受取手形及び売掛金	13,617	19,750
商品及び製品	4,650	7,190
仕掛品	2,627	3,498
原材料及び貯蔵品	3,759	4,836
その他	3,981	1,428
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	34,240	40,573
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,817	15,889
機械及び装置(純額)	51,792	48,222
土地	16,279	16,279
建設仮勘定	2,456	2,059
その他(純額)	1,432	1,411
有形固定資産合計	87,778	83,861
無形固定資産	821	771
投資その他の資産	2,648	1,895
固定資産合計	91,248	86,528
資産合計	125,488	127,102

(単位:百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,173	7,323
短期借入金	9,400	32,800
リース債務	1,066	1,090
未払法人税等	24	50
賞与引当金	412	112
設備関係支払手形	1,254	518
設備関係未払金	15,647	3,194
その他	769	1,739
流動負債合計	33,748	46,828
固定負債		
長期借入金	45,450	32,950
リース債務	2,511	1,699
退職給付引当金	1,172	1,267
資産除去債務	1,144	1,213
その他	411	359
固定負債合計	50,690	37,490
負債合計	84,439	84,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	23,498	25,239
自己株式	△9	△9
株主資本合計	41,171	42,912
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	116	87
繰延ヘッジ損益	△238	△216
評価・換算差額等合計	△121	△128
純資産合計	41,049	42,783
負債純資産合計	125,488	127,102

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	23,373	45,036
売上原価	21,908	35,295
売上総利益	1,465	9,741
販売費及び一般管理費	3,256	4,446
営業利益又は営業損失(△)	△1,790	5,295
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	7
不用品売却益	81	83
受取賃貸料	27	29
補助金収入	94	92
助成金収入	22	39
その他	28	21
営業外収益合計	259	272
営業外費用		
支払利息	393	444
為替差損	473	333
休止固定資産減価償却費	138	—
その他	9	12
営業外費用合計	1,015	790
経常利益又は経常損失(△)	△2,546	4,776
特別損失		
固定資産除却損	464	177
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	264	—
操業停止損失	1,119	—
ゴルフ会員権評価損	1	—
特別損失合計	1,848	177
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△4,395	4,598
法人税等	△1,797	1,937
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,597	2,660

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	18,638	2,539	2,196	23,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	18,638	2,539	2,196	23,373
セグメント利益又は損失(△)	△793	△1,406	409	△1,790

(注) セグメント損失と四半期損益計算書上の営業損失とに差額は生じておりません。

II 当第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	26,725	16,229	2,081	45,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	26,725	16,229	2,081	45,036
セグメント利益	1,814	2,907	574	5,295

(注) セグメント利益と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。